

「いいたてクリニックはこうなる」



医療法人秀公会
事務局長 寺島 長司 氏

健康フェスタでは、医療法人秀公会の寺島長事務局長による「飯館総合診療所『いいたてクリニック』はこうなる」と題した講演会が開かれました。

寺島事務局長は「いいたてクリニックは一次診療レベルを本院（あづま脳神経外科病院）と同じレベルにするため設備を整えたい。また、医療から介護、リハビリに力を入れていきたい」と話したほか、在宅医療の展開などについて講話されました。

参加した村民約70人は、平成22年4月に診療を開始する「いいたてクリニック」への理解を深めていました。

10/24

統合診療所の
概要を講演

健康フェスタ

10/24

エこ育てリユース事業
健康測定 など

健康フェスタでは、県地域の子育て応援交付金事業の一環として、各家庭で使われなくなった育児グッズを提供してもらい、これから子育てする家庭で再利用してもらう「エこ育てリユース事業」を行いました。

会場には、無料で無期限貸与されるおもちゃや衣類、チャイルドシートなど約180点の提供があり、来場した親子が、必要な育児グッズを借りていました。

また、正しい手洗いの方法や特殊機械を使って手の汚れを見る新型インフルエンザ対策コーナー、健康チェックコーナー、イノシシ肉など食材全て地元産を使った「すいとん汁」のサービス、ゆめ工房の作品展など健康を考えるイベントが行われました。



▲「いろんなグッズがあるね」提供された育児グッズを選ぶ来場者



▲野菜の重さはどのくらい？（食育クイズ）



▲「ぼくはこれを借りようかな」



▲来場者にはすいとん汁が振る舞われました。



▲健康チェックコーナー



▲見えない手の汚れをチェック



▲力作が集まった総合文化展



▲支部対抗玉入れ大会

いいたて村づくり推進協議会（会長・菅野村長）が、関係団体の協力によって毎年主催している「いいたて秋まつり」が、村公民館やJAそうま飯館総合支店、相農飯館校、いちばん館などを会場に開催されました。

「収穫感謝祭」やJAまつり、商工まつり、総合文化展やあぶくま高原そばフェスタ、イータテバイクじゃがいもフェスタ、飯館校「創立60周年記念紅葉祭」など各団体による多彩な催しに、各会場とも多くの家族連れなどが訪れました。



▲今年の収穫感謝と来年の豊作を祈願した収穫感謝祭



▲JAまつり



▲RCサーキット



▲イータテバイクじゃがいもフェスタ



▲子どもたちの作品展



▲キレイのあるダンスを見せた「ジェネシス」と「ジェネキッス」



▲サケのつかみ取り

第27回いいたて秋まつり

10/24 10/25

